

「エネルギーの抑制」について

施設環境部施設管理課長 前田 弘喜

山口大学の主要3キャンパスの電気使用量は、世界水準の教育研究成果の確保を目指し、老朽化・狭隘化施設の整備並びに、地域医療の更なる貢献に努めることより毎年増加傾向にあります。（表参照）

その対策として、平成15年度の施設規模における電気使用量をベースとして5ヶ年で計5%以上の削減を目標に取り組んでいます。

平成16年度は吉田・小串キャンパスは前年度の使用量に比べ増加しましたが、これは平成15年度が例年に比べ夏涼しく冬暖かであった為電気の使用量が低かったことや、附属病院の医療活動が増えたことにより電気の使用量が増えたことが要因と思われます。ただし、常盤キャンパスにおいては「こまめな節電」など、徹底した啓発活動により、15年度施設ベースでは5%以上の削減を達成しました。（棒グラフ参照）

また、平成17年度は吉田キャンパスで対前年度2.0%、小串キャンパスでは同じく0.1%の削減ができました。常盤キャンパスについては、平成17年度は対前年度3.8%の増加となりました。

平成17年度の山口大学の建物面積当たりの年間電力使用量は136 kWh/m²、大学構成員（教職員・学生）当たりの年間電力使用量は3,400 kWh/人です。

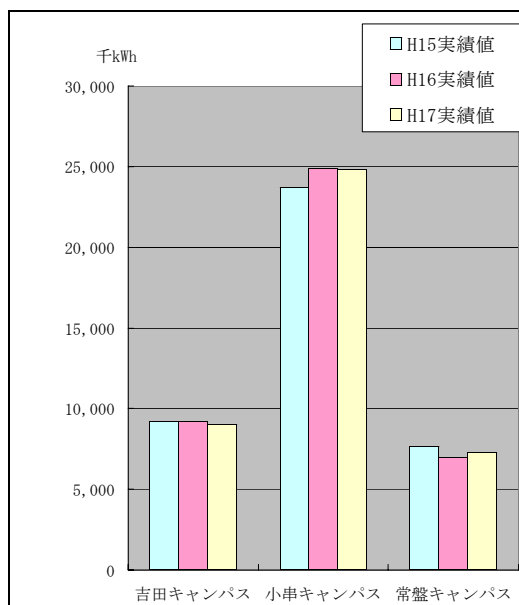
今後は、建物の増改築工事において一層省エネを考慮したものとし、運用面で更に節電を周知、徹底し削減していきます。

【主要3キャンパスの電力使用量】

単位:千kWh

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
吉田キャンパス	9,185	9,208	9,027
小串キャンパス	23,685	25,257	25,350
常盤キャンパス	7,640	7,989	8,870
合計	40,510	42,454	43,247

【平成15年度施設ベースにおける電力使用量】



◇ 下記のリーフレットを作成し、省エネの啓発活動を行っております。

国立大学法人 山口大学

省エネルギーの推進！！

省エネ法（年1%以上のエネルギー削減）を遵守しましょう。

◆年間光熱水費 平成17年度 約9億4千万円

吉田：約2億3千万円、小串：約5億1千万円、常盤：約2億円

★ こまめに電源スイッチを切りましょう！

- ・ エアコン、電灯、パソコン等使用の研究室、講義室、事務室等において
退室時、帰宅時は必ず電源スイッチを切りましょう。
- ・ 恒温室、フリーザー等も未使用期間は電源スイッチを切りましょう。
- ・ パソコンのシステムスタンバイを短時間（10分程度）に設定しましょう。

★ 節水・節ガスに努めましょう！

★ エアコンの温度設定を守りましょう！

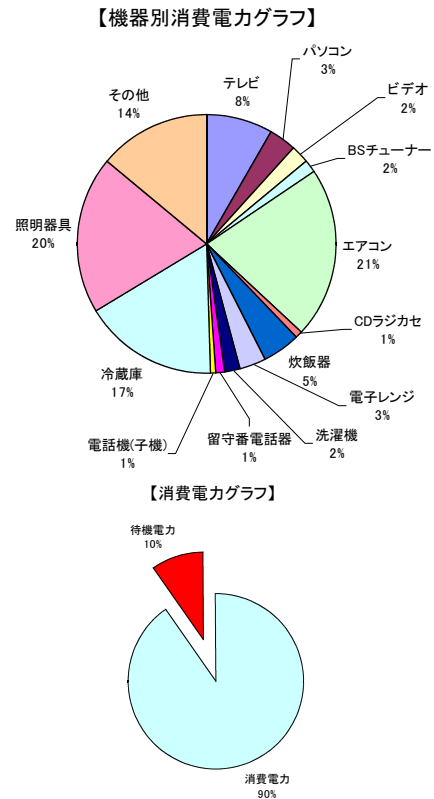
- ・ 夏季28℃、冬季20℃が目標です。
- ・ 夏季隔のあたる窓はブラインドを閉めましょう。

★ 省エネのため室利用の効率化を促進しましょう！

- ・ 平日夜間（20時以降）、土・日・祝日の利用を原則として許可制とします。
- ・ 図書館、学生食堂を学生の自習スペースとして活用しましょう。

★省エネに関するお問い合わせは、施設環境部・施設管理課
（内）5129又は5130まで

○ 年間消費電力グラフ（一般家庭）



◇待機電力は全消費電力のうち10%にもなります！
不要な機器はコンセントから抜いておくことを心がけましょう。

また、各学部毎においても「電気使用量の削減」などエネルギーの抑制に努めております。下記にその一例を示します。

◇ 人文学部の「省エネ」の活動と計画

17年度は、主として、電力の使用に力点を置いて「省エネ」を呼びかけ、その節約及び使用量の年間1%以上（15年度比）削減をめざして活動を行いました。一例としては、人文学部の廊下、階段、エレベーター付近に、数項目にわたる数種類のビラを掲示して「省エネ」を呼びかけました。

- ①研究室、講義室等における冷暖房の設定温度の目標を夏季28℃、冬季20℃とすることを周知徹底。
- ②研究室、講義室、事務室等で使用する「光熱水」の節約を呼びかけた。こまめに電源のスイッチを切ることを奨励。
- ③廊下エレベーター内の照明の間引きと一部の点灯時間の短縮。
- ④男子トイレの光熱水の節約のために、自動点灯の時間の短縮、使用前の洗浄水の流失の停止等、種々の方策をとった。



⑤平日夜間（20時以降）、土・日・祝日の研究室の利用を原則として許可制とした。図書館等の学習スペースの有効活用を呼びかけた。


⑥8月13日～20日を最低限の職員以外は一斉休業。

⑦エレベーターの使用を最小限にすることを呼びかけた。

その結果、17年度の人文学部の消費電力量は15年度比4.7%削減できました。18年度は、電気、水道、ガス使用量の削減を引き続きめざすとともに、特に、学生に対する環境教育と、紙使用量の削減（用紙の両面使用の促進、文書の電子化、封筒の再利用）を推進することとしています。

省エネにご協力を

- ★こまめに電源のスイッチを切ってください。
- ◎エアコン、電灯、パソコン等使用の研究室、講義室、事務室等において退出時、帰宅時は必ず電源スイッチを切ってください
- ★エアコンの使用時期及び温度設定を守ってください。
- ◎（使用時期）外気温が28℃以上（温度設定）28℃
- ★エレベータの使用を最小限にして、階段をご利用願います。



以上のことを徹底してお願いします。